

当院の今後のあるべき姿を考える ～地域の中で目指すもの～

一般社団法人
伊勢崎佐波医師会
副会長 都丸 浩一



伊勢崎市

面積：139.4km²

人口：約21万人

県内では、高崎市、前橋市、太田市に次いで第4の都市

玉村町

面積：25.7km²

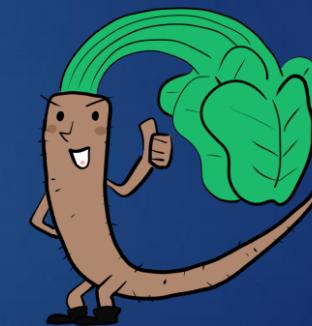
人口：約3万5000人

- ・日本一暑い街！



pixta.jp - 105932426

- ・美味しい食べ物が多い！



- ・実は首都圏からの
アクセスが良い！



電車

都心から新幹線で約50分
(東京駅→本庄早稲田駅)
本庄早稲田駅から車で約20分

自動車

都心から関越自動車道経由で約60分
(東京→本庄児玉IC)
本庄児玉ICから車で約20分

※どちらも都心から1時間強圏内！

地域の医療連携

伊勢崎市、佐波郡玉村町には
当院と伊勢崎市民病院、他9施設の病院、
127施設の診療所がある

304名の医師会員（開業医127名 勤務医177名）

本日の内容

I. はじめに

II. 当院の歴史

III. 当院の現状と課題

IV. 成人病検診センターの現状と課題

V. これからの目指すべきこと

VI. おわりに

本日の内容

I.はじめに

II.当院の歴史

III.当院の現状と課題

IV.成人病検診センターの現状と課題

V.これからの目指すべきこと

VI.おわりに

少子化・超高齢化社会
そして、人口減少・・・

目指すべきものは？

本日の内容

I.はじめに

II.当院の歴史

III.当院の現状と課題

IV.成人病検診センターの現状と課題

V.これからの目指すべきこと

VI.おわりに

伊勢崎佐波医師会病院 概要

設置主体：一般社団法人 伊勢崎佐波医師会

所在地：群馬県伊勢崎市

開院日：1974年（昭和49年）5月3日

許可病床数：255床 一般病床 153床 地域包括
ケア病床 52床 療養病床 50床 従業員385名

標榜科：内科 循環器科 胃腸科 消化器内科
糖尿病内科 呼吸器内科 小児科 外科 整形外科
脳神経外科 リハビリテーション科 放射線科、
病理診断科 眼科 耳鼻咽喉科 婦人科
地域災害医療センター 災害派遣医療チーム（DMAT指定病院）
救急医療告示病院 開放型病院 地域医療支援病院



伊勢崎佐波医師会病院 沿革

1974年（昭和49年）	財団法人伊勢崎総合医療センター附属病院として（66床）で開院
1984年（昭和59年）	255床へ増床
1986年（昭和61年）	社団法人伊勢崎佐波医師会病院 認可
1986年（昭和61年）	成人病検診センター開設
2008年（平成20年）	療養病棟開設（50床）
2019年（令和元年）	地域包括ケア病棟開設（52床）
2013年（平成25年）	一般社団法人伊勢崎佐波医師会病院 認可
2020年（令和02年）	入退院支援センター開設 新外来検査センター開設（新型コロナ対応） 新型コロナウイルス疑い患者受入医療機関登録

開院以来、
24時間365日オープン
地域医療の支え
医療・介護・公衆衛生活動を維持
医師会運営による地域医療支援病院





新外来検査センター^{（新型コロナウイルス検査）}

ワクチン接種



院内医学会 臨床症例検討会



災害訓練

各種研修会



本日の内容

I.はじめに

II.当院の歴史

III.当院の現状と課題

IV.成人病検診センターの現状と課題

V.これからの目指すべきこと

VI.おわりに

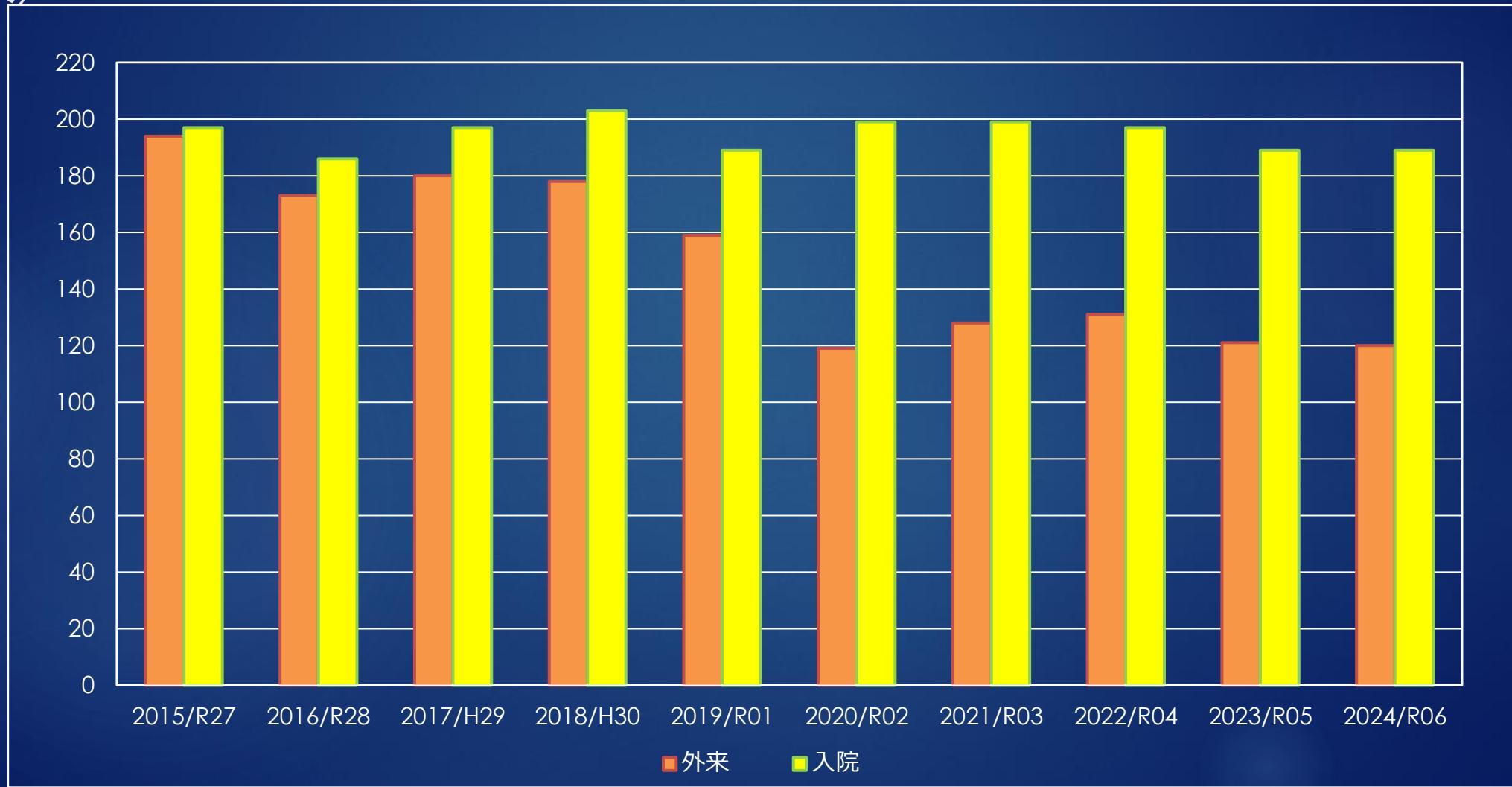
地域医療支援病院

患者紹介に対する医療提供

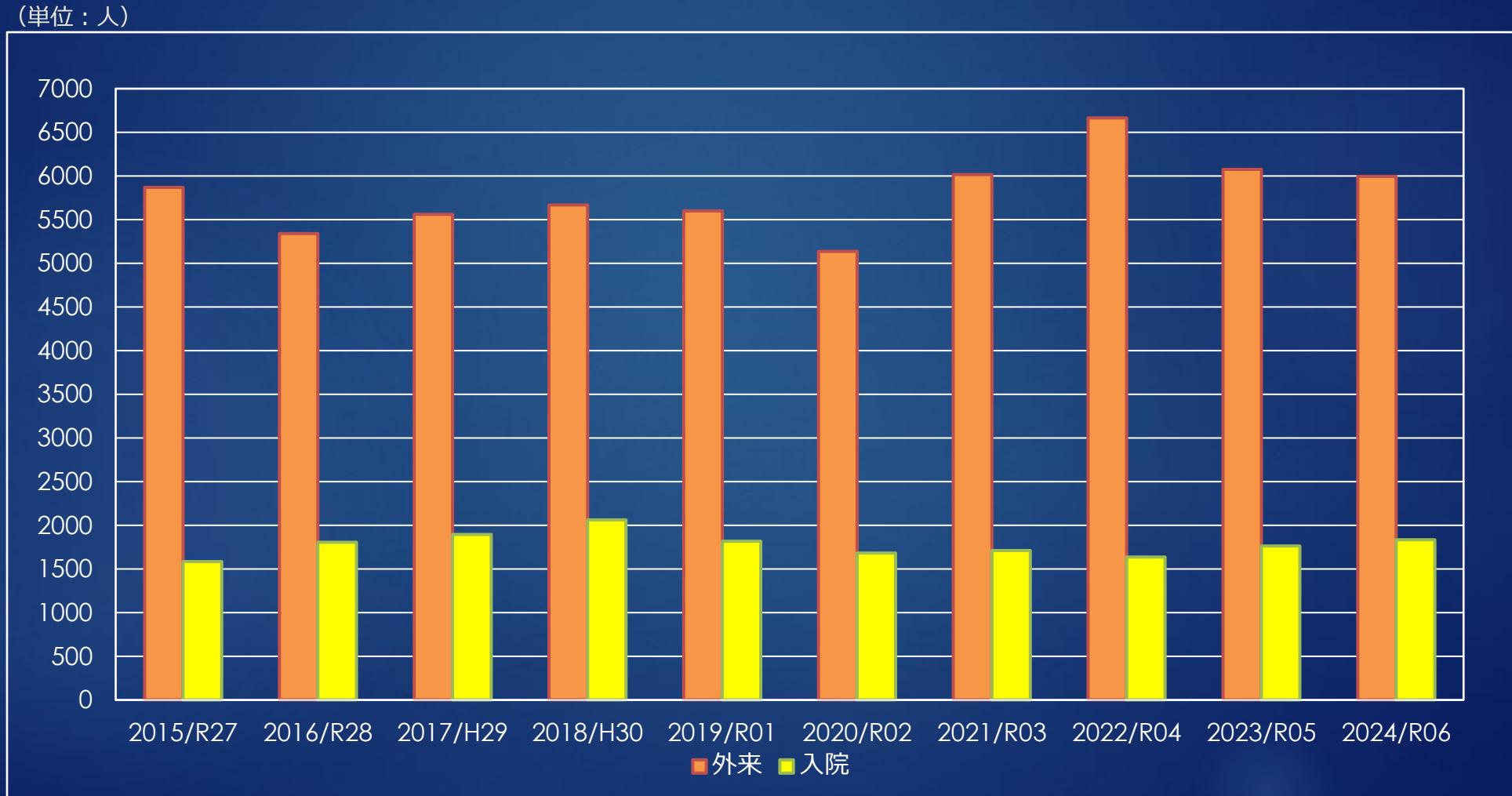
医療機器等の共同利用

1日平均患者数 (外来・入院別)

(単位:人)

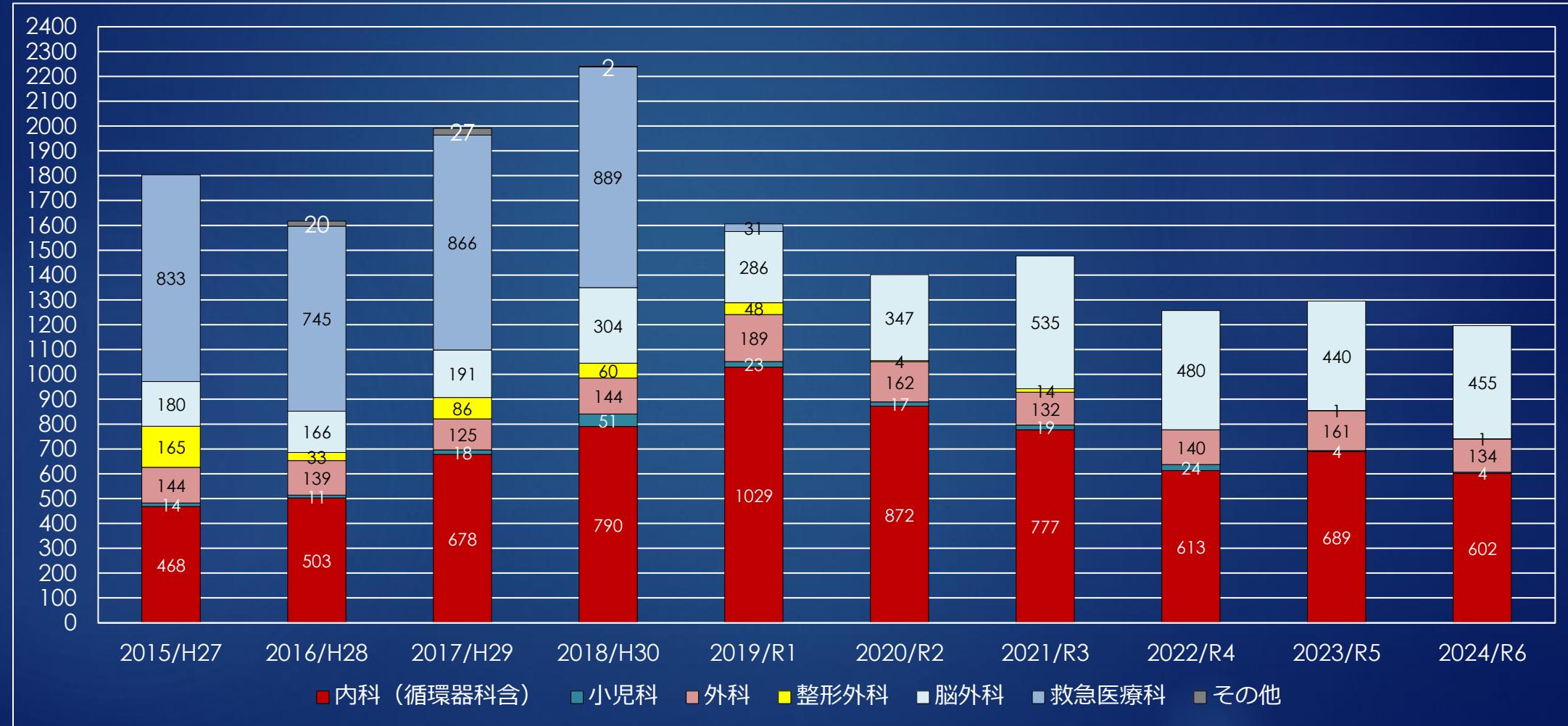


患者紹介件数 (外来・入院別)



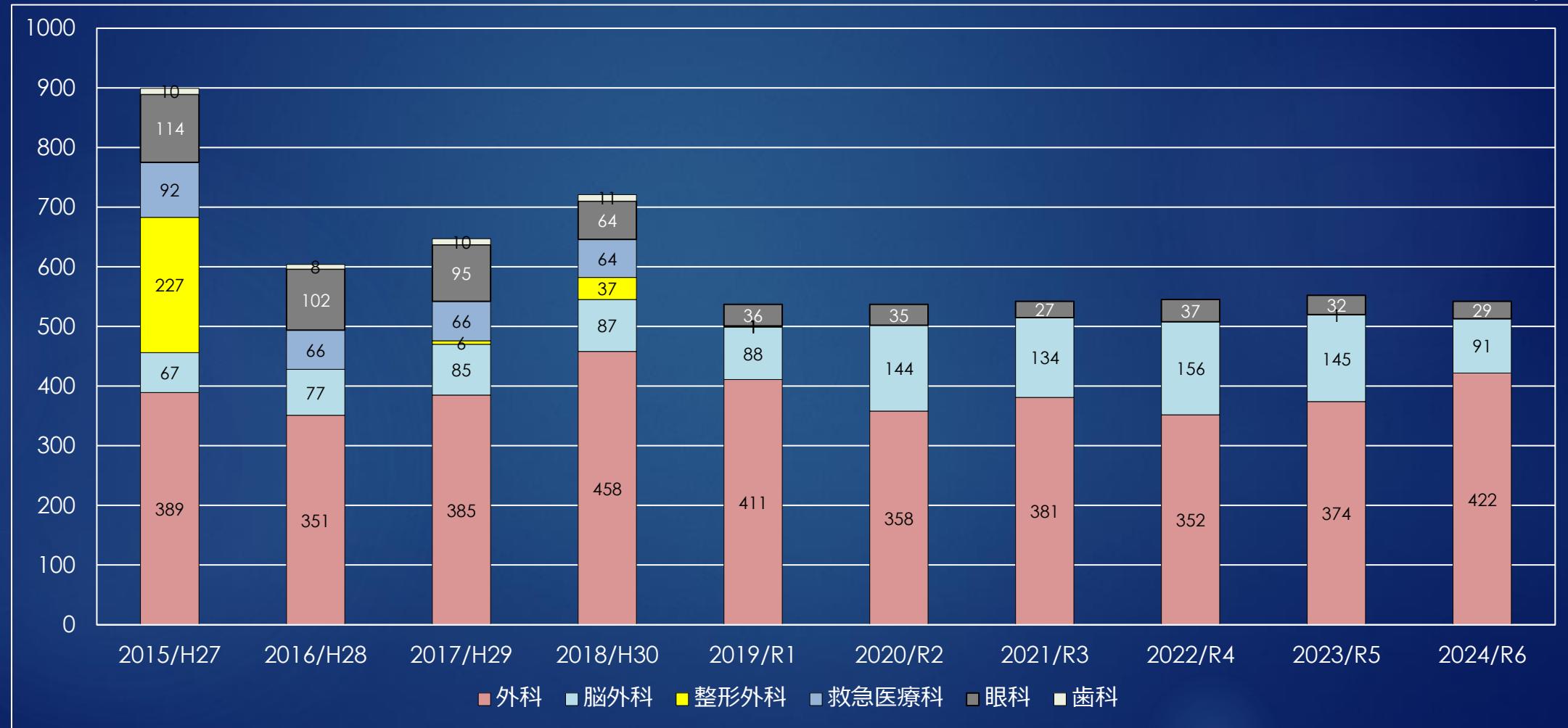
救急搬送件数（診療科別）

(単位：人)



手術件數 (診療科別)

(单位: 人)

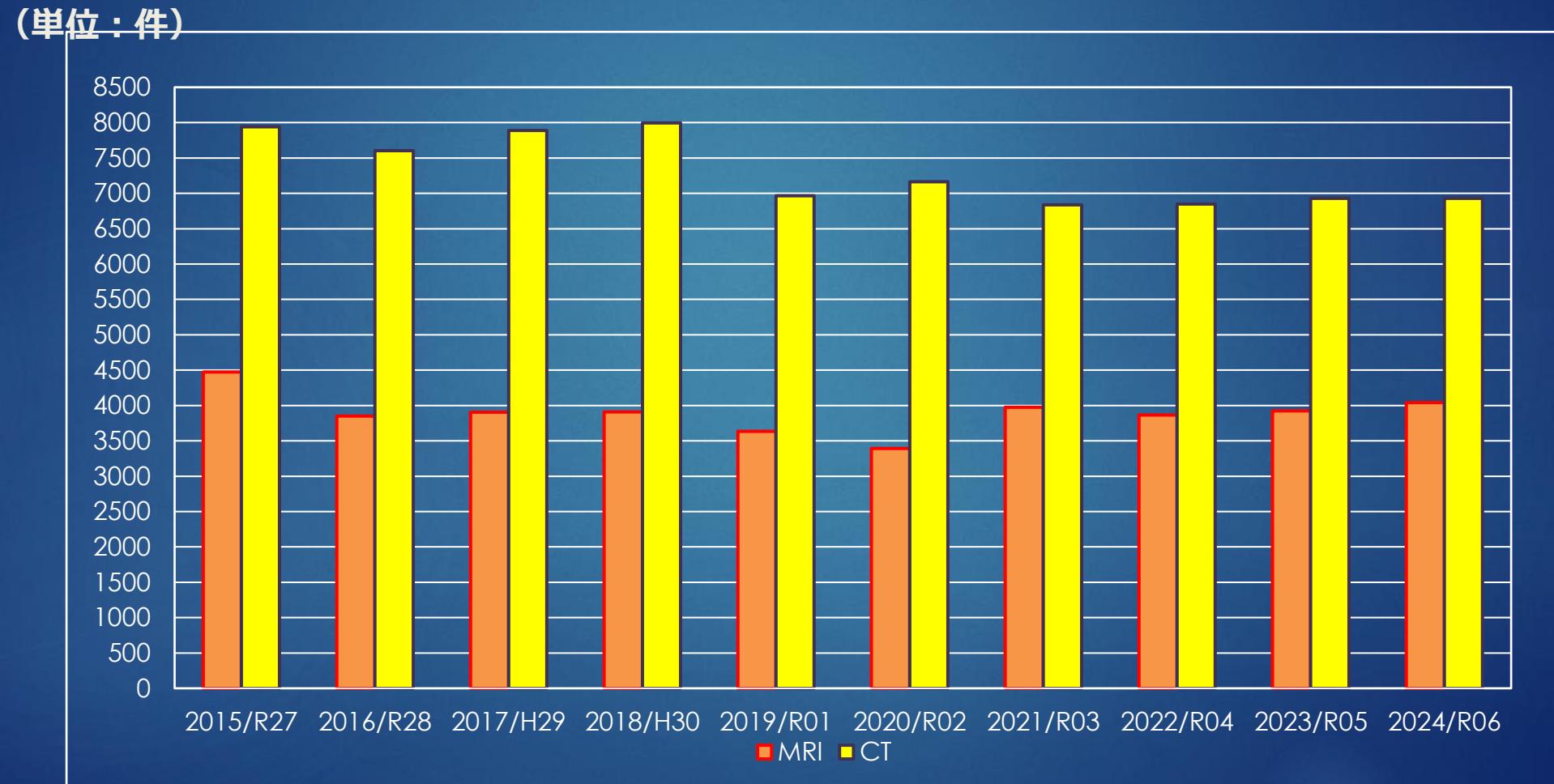


受託検査 利用状況

	会員利用数	検査総件数	受託検査件数	超音波件数
2015 / H27	123	3,370,401	1,124,971	4,957
2016 / H28	124	3,334,100	1,089,479	4,550
2017 / H29	122	3,258,315	1,038,546	4,800
2018 / H30	124	3,322,911	1,036,337	4,707
2019 / R01	118	3,447,781	1,011,386	4,055
2020 / R02	120	3,497,687	936,922	3,766
2021 / R03	121	3,612,578	955,942	3,972
2022 / R04	119	3,568,669	913,977	4,063
2023 / R05	119	3,425,399	778,515	3,679
2024 / R06	117	3,414,170	783,742	3,710

年度	総件数	紹介数	紹介率			
				CT	MRI	超音波
令和4	6808	1082	15.9	CT	MRI	超音波
令和5	6867	1154	16.8			
令和6	6857	1097	16			
年度	総件数	紹介数	紹介率			
令和4	3865	1355	35.1	CT	MRI	超音波
令和5	3922	1458	37.2			
令和6	4039	1489	36.9			

MRI・CT 摄影件数



“かかりつけ医”を
介在した患者様の利便性

近年・・・
専門性・高度先進医療の方向へ

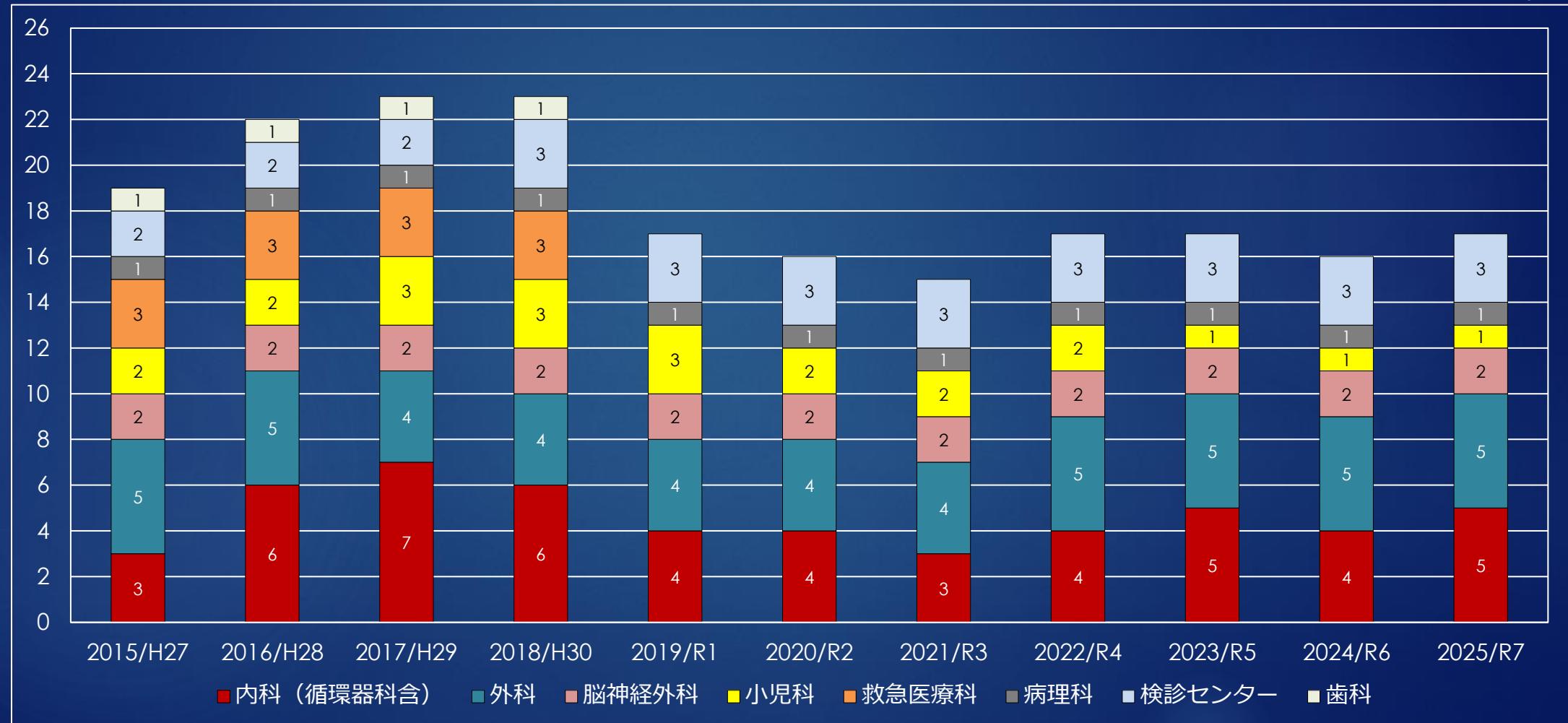
地域の人たちの気持ち
その利便性を高めること

一方で・・・

常勤医師数は減少傾向

常勤医師数

(単位:人)



本日の内容

I.はじめに

II.当院の歴史

III.当院の現状と課題

IV.成人病検診センターの現状と課題

V.これからの目指すべきこと

VI.おわりに

成人病検診センターの沿革

- ▶ 昭和49年 伊勢崎総合保健センター(付属病院)が開院
- ▶ 人間ドック検診課創設 検診業務開始
- ▶ 昭和50年 胸部検診車(1号車)
- ▶ 昭和53年 胸部検診車(2号車)購入
- ▶ 昭和60年 胃部検診車(3号車)購入 胃部集団検診開始
- ▶ 昭和63年 循環器車(6号車)購入
- ▶ 老人保健法による基本健診開始
- ▶ 平成3年 現在地に伊勢崎佐波医師会附属成人病検診センターを竣工開設



成人病検診センターの業務

施設内での主な健診業務

- ▶ 人間ドック　　日帰りドック及び一泊ドック
- ▶ 協会けんぽ生活習慣病予防検診
一般検診　付加検診　日帰りドック内容
- ▶ 来院健診　　事業所健診(少人数の事業所　雇入れ等)
伊勢崎市レディース検診
- ▶ 特定保健指導

施設外での主な健診業務

- ▶ 事業所健診 バスで企業に出向いて行う巡回健診

事業所数 約600社

伊勢崎市内～県内全域 埼玉県・栃木県の一部

- ▶ 集団住民健診

伊勢崎市 特定健診・結核肺がん検診・胃がん・大腸がん

乳がん・前立腺がん検診・

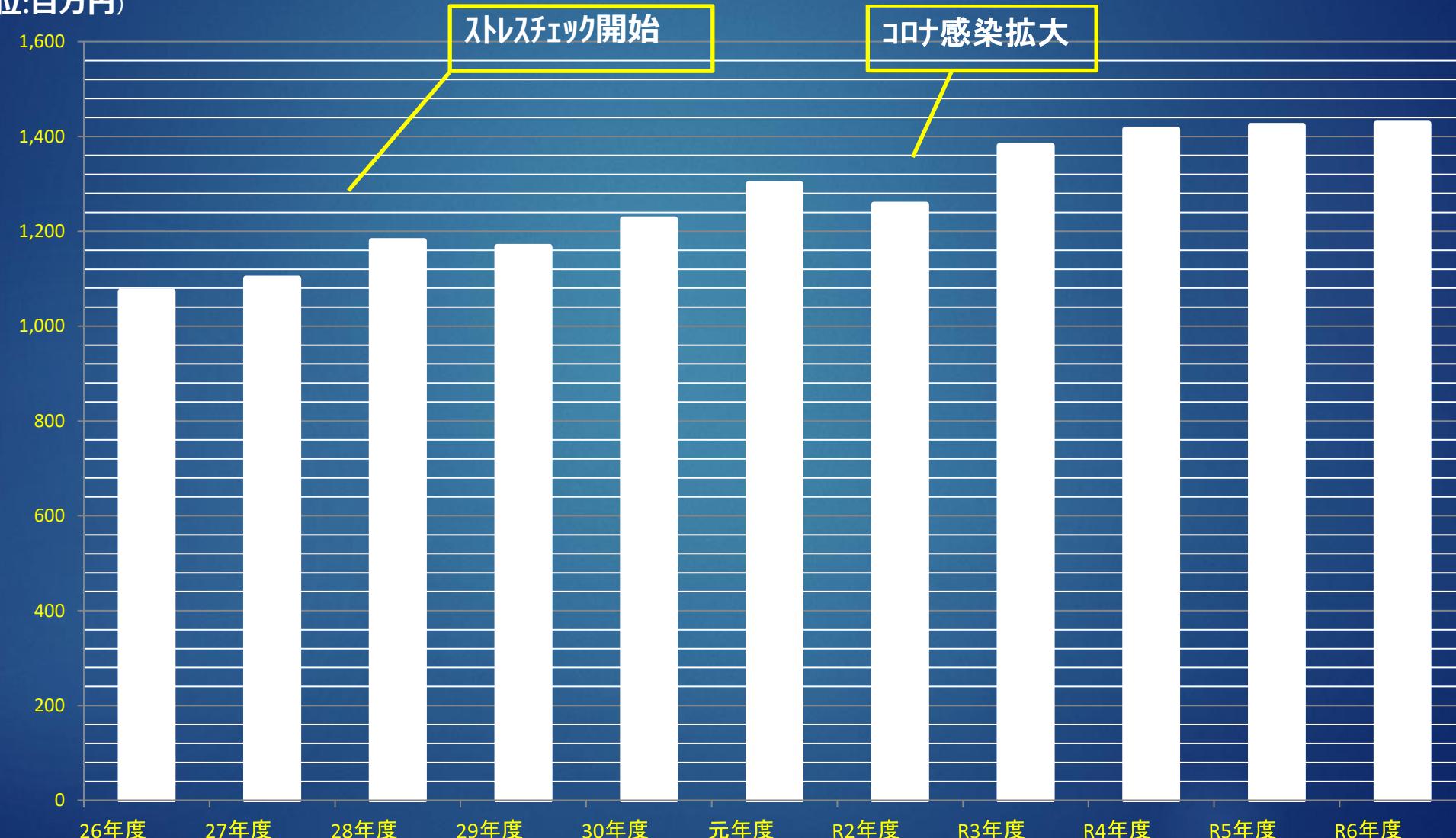
玉村町 胃がん・大腸がん検診・ヤングレディース検診(19-23歳)

- ▶ 特定保健指導 契約企業に出向いて実施

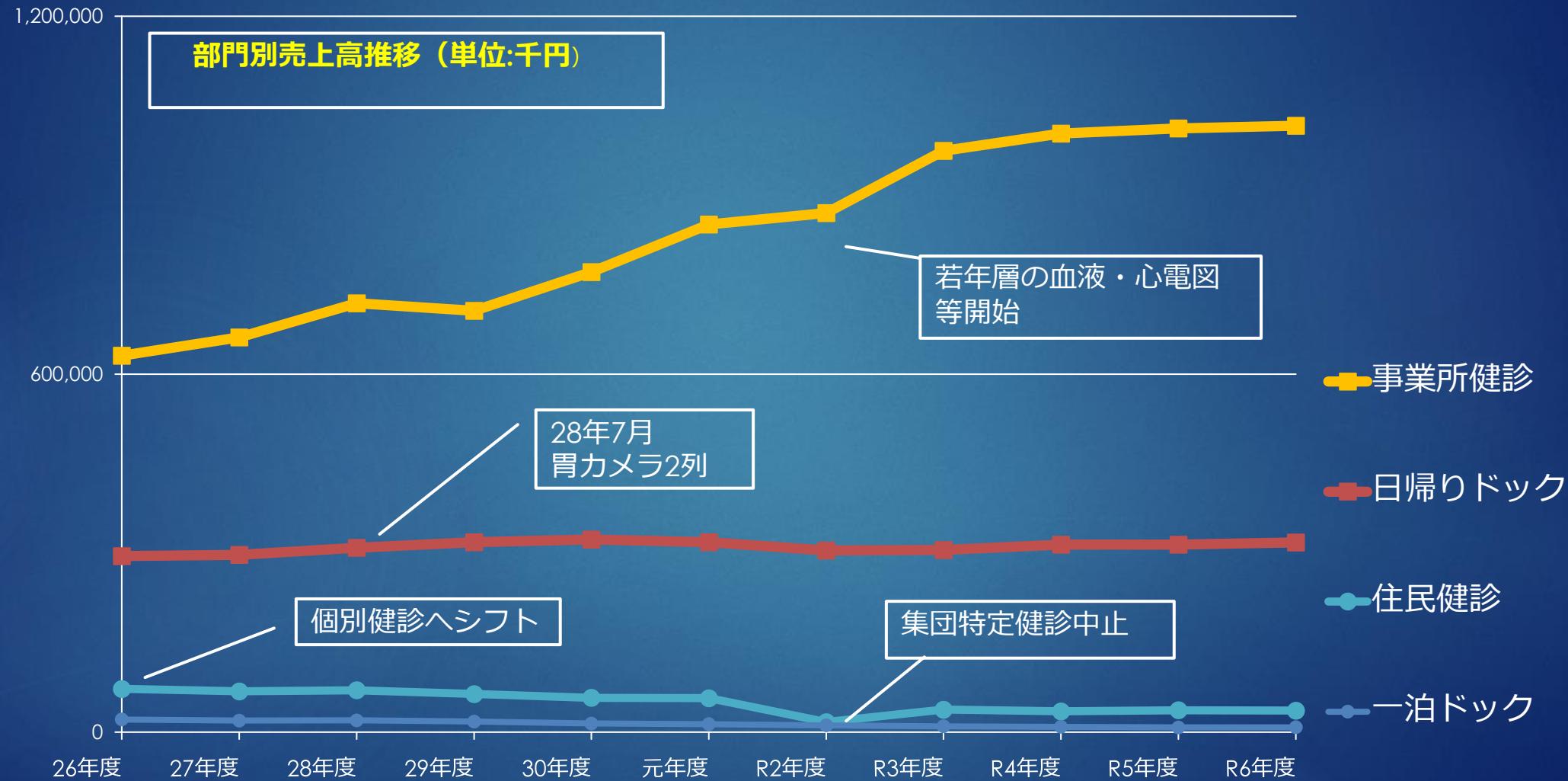
成人病検診センターの業績推移

30

売上高 (単位:百万円)



成人病検診センターの部門別業績推移



成人病検診センターの業績推移

32

▶ ドック

一泊ドック～過去10年間の業績は減少傾向

10年前と比較 受診者数39.2% 金額41.0%

日帰りドック～過去10年間の業績は緩やかに増加

10年前と比較 受診者数105.0% 金額106.9%

H28年7月に胃カメラを2診に増設 ⇔受診者増加

施設の構造上1日の収容力は限界 ⇔現状維持

▶ 事業所健診

過去10年間の業績は増加傾向

10年前と比較 受診者数120.5% 金額153.6%

R1年以降、若年層の血液検査・心電図等の開始

受診者増加

企業との長年にわたる信頼関係の構築 取引先の安定

▶ 住民健診

過去10年間の業績は減少傾向

10年前と比較 受診者数58.5% 金額50.4%

個別健診の開始に伴い受診者の個別健診へのシフト

施設内健診の現状

▶ 伊勢崎佐波医師会病院併設

病院検査機器の活用 (MRI CT マンモグラフィ)

病院検査室による血液検査、尿検査等の迅速結果対応

➡ 人間ドック当日の医師による結果説明の実施

▶ 健診システムの更新

WEBによる事前問診の開始

タブレットを利用した検査誘導システムの導入

受診者情報と結果データのオンライン化

▶ 日本総合健診医学会 優良施設認定取得

成人病検診センターの現状

34

施設外健診の現状

- ▶ 伊勢崎佐波医師会病院併設
 - 病院併設
 - 企画、受診者の安心感、信頼感
 - 放射線科、検査科技師の検診業務への協力
 - ▶ 健診システムの更新
 - WEBによる事前問診の開始
 - QRコードを利用した情報把握、受診者情報のオンライン化
 - 受診者データを巡回先で共有検査の実施状況等の確認

検診車の状況

胃部X線検診車1台 胃胸部X線検診車3台 胸部X線検診車4台
心電図車6台 マンモグラフィ検診車1台 計15台

巡回健診の状況

1日最大6班（1班：医師 看護師 技師等9～13名程度）
検診先の受診者数・検査項目により適正人員で対応
4月～12月 6班稼働（月～金） 企業からの健診依頼が多い
1月～3月 3～5班稼働（同上） 企業からの健診依頼少ない

➡ 検診需要の高い時期に新規企業の受け入れが困難

成人病検診センターの課題と今後³⁵

▶ 施設内健診

建物は築後34年、ドックは建設当時の想定を上回る受診状況

最大収容数で予約受付 ⇔ 受診者増は困難、現状維持

⇨ 今後の受診ニーズ等を分析し建物の増改築や建て替え等
検討も必要

▶ 施設外検診

企業健診の需要期は設備（検診車等）や人員等から新規受け
入れは困難な状況 ⇔

今後の企業ニーズ等を分析し設備、人員の検討も必要

本日の内容

I. はじめに

II. 当院の歴史

III. 当院の現状と課題

IV. 成人病検診センターの現状と課題

V. これからの目指すべきこと

VI. おわりに

①労働力の確保

働きやすい職場 定年年齢の引き上げ
メディカルクラークの採用 AIの活用

②紹介しやすい病院づくり

入退院支援センター拡充 患者サービス向上
病床コントロール調整

③切れ目のない医療・介護の提供

在宅医療介護連携センター いせさき・たまむら

④経営安定化

健診部門：病院附属機関のため、高い信頼感・
非常に安定した経営の確保

本日の内容

I.はじめに

II.当院の歴史

III.当院の現状と課題

IV.成人病検診センターの現状と課題

V.これからの目指すべきこと

VI.おわりに

少子高齢化を伴う人口減少の影響は非常に大きなものと予測される。過去と同じ考え方では、その運営は非常に困難であると考えられる

選ばれる施設づくり

ご清聴ありがとうございました。
ぜひ伊勢崎市、玉村町へお越し下さい。
お待ちしております。

